

第5回国立がん研究センターたばこ政策支援部セミナー

日時：2月21日（木）

会場：国立がん研究センター新研究棟（東京都中央区）

テーマ：行動変容につながる保健指導を目指して Part II—保健指導の質を担保する（仮）

※2018年9月4日に開催した第4回セミナーの続編。

対象：企業・自治体等の保険者や保健部門で保健事業の企画、実施に携わるスタッフ

内容（予定）：シンポジウム「保健指導の“質”を担保する（仮）」座長：津下一代（あい健康の森健康科学総合センターあい健康プラザセンター長）／ワークショップ「動機付け面接法（Motivational Interviewing：MI）」（13～16時程度で、講義＋演習で構成）オーガナイザー：松尾邦功（国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策支援部外来研究員）、磯村毅（予防医療研究所代表）、加濃正人（新中川病院）／まとめ（質疑・総合討論）

※17時には閉会。

事務局・担当：国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策支援部（担当：吉見）

☎03-3547-5201（内線：1646）

✉tcseminar@ml.res.ncc.go.jp

研修会「ネウボラでの子育て・家族支援 “子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう” の実践」

日時：3月16日（土）13:00～16:

00

会場：東京医科大学第一看護学科棟（東京都新宿区）

LTについて：「子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう（LT）」は、フィンランドの「子どもと家族への効果的な支援」という国家的プロジェクトの中で児童精神科医ソラントウス氏が開発。エビデンスのある支援法としてフィンランド社会保健省は国内全土における保健・医療・福祉サービスでの実施を推奨している。LTは当初、精神疾患を持つ親と子ども・家族への支援として用いられていたが、最近ではネウボラ、学校、幼稚園／保育園など多様な場で実践されている。

内容：フィンランドのネウボラでLTを実践しているエバスオヤ氏（保健師／子どもがいる家族の専門家／LTトレーナー）を招聘し、支援の実際や有用性などについて講演。日本での子育て・家族支援について、参加者とディスカッションを行い、日本での活用やヒントを得られる貴重な機会となることを願う。

プログラム：ビデオメッセージ：トゥッティ・ソラントウス（国立健康福祉研究所、フィンランドメンタルヘルス協会名誉教授、児童精神科医）（英語、逐次訳付き）／「日本での“子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう”」上野里絵（東京医科大学准教授）、長田洋和（専修大学教授）／招聘講演「ネウボラでの子育て・家族支援—“子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう”の実践」ミンナ・エバスオヤ（日本語）

対象：子育て支援に関わる専門家

参加費：無料

定員：100名（先着順）

申込方法：下記メールに、名前、所

属、連絡先（電話番号あるいはメールアドレス）を記載して送信。

✉LTWS2019@gmail.com

埼玉県立大学 研究開発センター 研究推進セミナー

日時：3月23日（土）

会場：埼玉県立大学北棟（埼玉県越谷市）

プログラム：パネルディスカッション「臨床実践をより良くする研究の発展に向けて—実践と研究のコラボレーション」：「臨床現場における実践者および研究者としての研究の実際」松原康美（北里大学看護学部准教授）、「臨床における研究活動の実際—がん専門病院の実例を通して」市川智里（国立がん研究センター東病院看護部看護師長）、「臨床現場で看護研究を推進するための取り組み—看護学部と看護部の協働を模索する」山内典子（東京女子医科大学八千代医療センター）、「オレムセルフケア理論を臨床で活用するための大学との協働—臨床に根付かせるための研究としての取り組み」近藤美和子（埼玉県立小児医療センター看護部）

定員：80名（先着順）

参加費：無料

申込方法：下記URLの申込フォームから

問い合わせ先：埼玉県立大学研究開発センター

☎ & ☎ 048-973-4383

✉Research_c@spu.au.jp

URL goo.gl/forms/q08Qbi6SviTuKbzx1